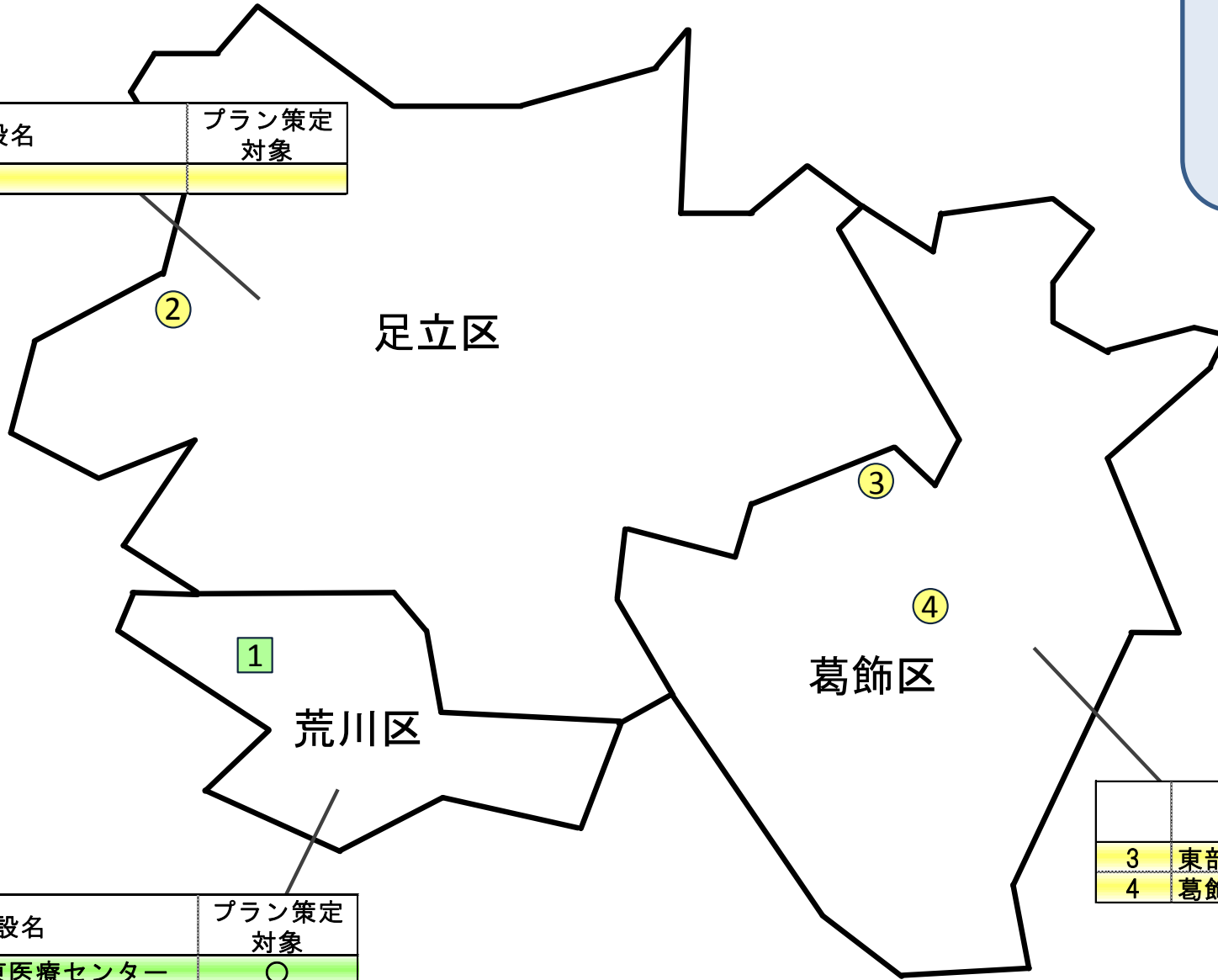


主な医療機関  
区東北部

凡例

- ☆ 特定機能病院・救命救急センター
- 特定機能病院
- 救命救急センター
- その他（一般300床以上、プラン策定対象病院） ※病床は許可病床数

	医療施設名	プラン策定対象
2	博慈会記念総合病院	



	医療施設名	プラン策定対象
1	東京女子医科大学東医療センター	○

	医療施設名	プラン策定対象
3	東部地域病院	○
4	葛飾赤十字産院	○

<2025年の医療需要>

機能 (医療資源投入量)	高度急性期機能 (3,000点~)	急性期機能 (600~3,000点)	回復期機能 (175~600点+回りハ)	慢性期機能 (~175点)
患者数	628(人/日)	2,466(人/日)	3,033(人/日)	2,159(人/日)
病床数の必要量	837(床)	3,162(床)	3,370(床)	2,347(床)

<平成28年度病床機能報告>

機能 (自己申告)	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
病床数	912(床)	4,808(床)	1,221(床)	2,568(床)
病床稼働率	77.6(%)	83.7(%)	85.6(%)	86.9(%)
平均在院日数	7.9(日)	11.9(日)	47.3(日)	191.7(日)

<平成29年度までの調整会議における議論の到達点>

**地域の特徴**

- 中小病院割合が高い
- 退院調整部門を置いている割合が低い
- 退院後に在宅医療を必要とする患者の割合が高い
- 丁寧な退院調整を求める地域の診療所の声

**課題**

- 医療機関と介護施設間の退院調整に向けた連携を強化する取組が必要
- 中小病院間の顔の見える関係を構築し、情報共有・連携を強化する取組が必要



**解決に向けたキーワード**

- 顔の見える関係
- 情報共有にあたってのルール作り
- 住民理解

<地域医療構想推進事業>

地域医療構想推進事業を活用して整備された病床(カッコ内は補助対象病床)

	病院名	所在
1	足立慶友病院	足立区
	回復期リハビリテーション病床（43床）	
2	亀有病院	葛飾区
	地域包括ケア病床（20床）	
3	イムスリハビリセンター東京葛飾病院	葛飾区
	回復期リハビリテーション病床（50床）	
4	等潤病院	足立区
	地域包括ケア病床（38床）	

<プラン策定対象病院>

		病院名	所在区市	特定機能病院	地域医療支援病院	指定状況											平成28年度病床機能報告における病床数					将来的に目標とする病床数						
						救命救急センター	こども救命	指定二次救急医療機関	小児救急医療機関	災害拠点病院	CCU医療機関	脳卒中	t-PA	がん	小児がん	周産期センター	周産期連携病院	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	休棟等	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	休棟等	
45	区東北部	1 東京女子医科大学東医療センター	荒川区		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●			495						450				
46		2 公益財団法人東京都保健医療公社東部地域病院	葛飾区		●			●	●	●	●	●						6	308					6	308			
47		3 葛飾赤十字産院	葛飾区														●		12	101					36	68		

※CCU医療機関:東京都CCUネットワーク加盟施設 / 脳卒中:東京都脳卒中急性期医療機関 / t-PA:t-PA対応可能施設 / がん:都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、東京都がん診療連携拠点病院 / 小児がん:小児がん拠点病院、東京都小児がん拠点病院 / 周産期センター:東京都総合周産期母子医療センター、東京都地域周産期母子医療センター / 周産期連携病院:周産期母子医療センターと連携の下、ミドルリスクの妊産婦に対応する病院  
 ※将来的に目標とする病床数は、「公的医療機関等2025プラン」に記載された2025年度の機能別病床数を指す。ただし、公立病院及び公社病院については、「平成29年度病床機能報告」で6年後の病床数として報告された数字としている。